

旧国鉄筑肥線の今昔

筑肥線は昭和10年に私鉄の北九州鉄道が博多―東唐津―伊万里間の86.1kmを敷設し、その後、昭和12年に国有化されました。

非電化の国鉄ローカル線だった筑肥線ですが、福岡市営地下鉄空港線の姪浜延長開業に伴い、昭和58年3月22日に博多―姪浜間11.7kmが廃止となりました。

南庄西交差点（JA室見支店）あたりに筑前庄駅（昭和16年廃止）があり、昭代3丁目交差点あたりに西新駅がありました。西新駅があった場所の地名は、現在、高取校区の昭代3丁目ですが、駅開業当時は西新校区（昭和25年に分校）であったことから、西新駅になったということです。



旧筑前庄駅付近をはしる蒸気機関車



南庄2丁目・JA室見支店付近



旧国鉄弥生踏切



原通り新開橋交差点



旧国鉄西新駅・昭和58年

